

おらほの会社

(株)鹿渡工業 の巻



今野 政志

会社概要

- おらほの会社の沿革を以下に示します。
- 1969年1月 (有)鹿渡ボーリングとして創立
- 1982年8月 (有)鹿渡ボーリング工業に名称変更
- 1996年8月 (株)鹿渡工業に組織変更現在に至る。

1969年1月に先代の社長が自ら機長を務め、ボーリング機械1台で会社を創立、以来おかげさまで今年で44年になります。2005年から、現在の社長が2代目として後継しています。

会社で行っている業務は、大きくは地質調査関係(地質調査・コンサル・さく井等)と、設備工事関係(配管・空調・給排水等)です。

現在、社員は27名ですが、事務を除くと調査関係7に対し、設備関係3の割合です。

しかしながら、小さな会社ですのでお互いに他の業務を経験するといった意味も含めて、調査関係の担当と設備関係の担当の交流を状況に応じて臨機応変にやるようにしています

会社所在地

会社は、秋田市と能代市の中間に位置する三種町にあります。



会社位置

三種町は、平成の大合併で、当時の八竜町、山本町及び琴丘町の三町が合併して誕生した町で人口約19,000人の小さな町であります。

会社は、秋田自動車道の“琴丘森岳IC”から約1km、JR奥羽本線“鹿渡駅”から約200mそして国道7号線からは約50mと交通環境としては申し分のないほど便利なところにあります。



社屋全景

社屋は、実家の銭湯の廃業後、改装して事務所として利用したもので、写真でもわかるように外観は今でも当時の銭湯の面影が見て取れます。

会社の東側には道路を隔てて琴丘小学校のグラウンドが近接していて、休み時間や放課後には子供達の元気な声が事務所内に飛び込んできます。

会社方針

「一人一人の技術力向上で総合力アップ」を目指して、社員の一人一人が「今日よりは明日、明日よりは明後日」の技術力の向上を目指して一生懸命に仕事に取り組んでいます。

現在、ボーリング機械は6台稼働していますが、機長の高齢化が進む業界の動向とは裏腹に、我社では若い社員が順調に育って20代1人、30代4人、40代1人の機長からなっています。

また、現場では「苦あれば楽あり」を実

.....

践、他社が手を拱くような難かしい現場にも、果敢に取り組むようにしています。

社長の方針で、資格取得等には特に力を入れており講習会等には出来るだけ参加させ、また、資格取得を希望する社員に対しては、合格するまで費用はすべて会社で支援しています。

この他、おらほの会社で最も大切にしていることは「チームワーク」です。全社員が自信と希望を持って切磋琢磨しながら仕事が出来るように努めています。

こちらに来られる方のために

三種町には、「みちのくの奥座敷」あるいは「とてもしょっぱい温泉」として有名な“森岳温泉”、「日本の海水浴場100選」にも選ばれている“釜谷浜海水浴場”、「バスフィッシング」で県内外からたくさんの釣り人で賑わう“八郎潟承水路”など、有名な観光地もありますが、三種町と言えは何と言っても国内生産量日本一を誇る“じゅんさい”（蓴菜）が有名です。



“じゅんさい”

“じゅんさい”は湖底に根を張り、成長するにつれて湖面にハスのような葉を浮かべ、中の茎（幹）はところどころに枝を派生させます。そして、幹と枝の二股の部分に大小のぬめりのある新芽がで

てきます。この新芽が“じゅんさい”です。こちらに来られる方もいるかと思うのでそんな方のために“じゅんさい”を使った今話題のご当地グルメを紹介したいと思います。

“じゅんさい”は、一般的には三倍酢で食べたり、鍋料理と一緒にに入れて食べたりしますが、平成25年4月に“じゅんさい”を利用した新しいご当地グルメ「三種じゅんさい丼」が誕生しました。



三種じゅんさい丼

これは、特製醤油で味付けをした“じゅんさい”を、薄焼き玉子の茶巾で包んで、刻み梅を混ぜた酢飯の上ののせ、茶巾の玉子の上には梅がトッピングされています。茶巾玉子を割ると、バサッと“じゅんさい”が出てくる仕掛けになっています。地元でとれた食材の味をバランスよく使って、評判はなかなかのようであります。

こちらに来られた際には、是非お試しください。